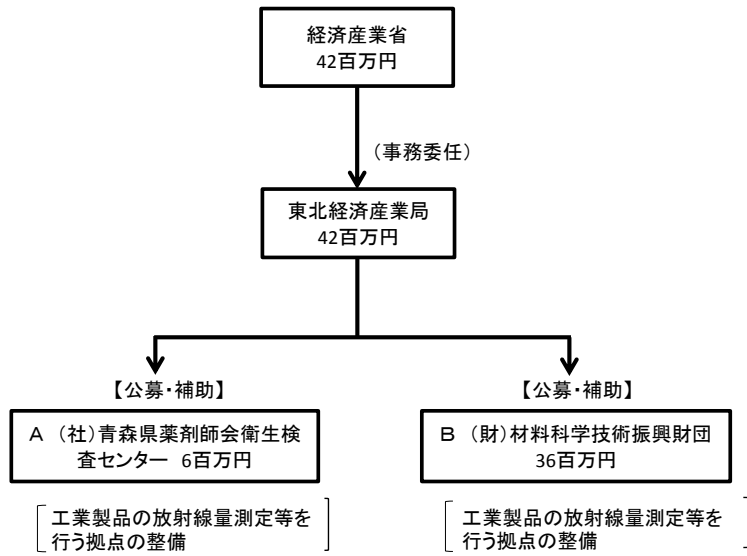


平成25年行政事業レビューシート						(復興庁)		
事業名	国内放射線量測定等支援事業 (平成25年度:放射線量測定指導・助言事業) (復興関連事業)		担当部局庁	復興庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度・平成28年度		担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 大野 秀敏		
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	復興施策の推進 東日本大震災からの復興に係る施策の推進				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、通知等	「東日本大震災からの復興の基本方針」(平成23年7月29日 東日本大震災復興対策本部決定) 福島復興再生基本方針(平成24年7月13日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	計画区域等の見直しにより企業立地や帰還企業の創業再開の進捗が予想されることから、工業製品等の風評被害対策を目的として、工業製品等の放射線量測定等に関する指導・助言を行う専門家チームを派遣する事業を実施する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国内放射線量測定等に関する、以下の支援事業を実施 ※23年度補正予算で実施し、24年度に繰越 ・放射線量測定拠点整備事業(定額補助(1/2以内) 特定被災地域において、工業製品等の放射線量測定等を行う拠点整備に必要な経費の補助。 ※23年度補正予算(23年度内で事業終了)及び25年度事業 ・放射線量測定指導・助言事業(委託) 福島県を中心として、民間事業者等に工業製品等の放射線量測定等に関する指導・助言を行う専門家チームを派遣する事業。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算		(経産省計上)	-	63	63	
		繰越し等		193		-		
		計		△ 57	57	-		
	執行額		136	57	63	63		
	執行率(%)		9	6.6%	42	73.7%		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (28年度)
	利用事業者のうち満足度の割合			成果実績				70%
	達成度			%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	相談対応件数			活動実績		94	197	-
				(当初見込み)	()	(960)	(-)	()
単位当たりコスト	212,894 (円/件)			算出根拠	単位あたりコスト=執行額(41,940,125円)/相談対応件数(197件)			
平成25・26年度 予算 内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	人件費	35	35					
	事業費	22	22					
	一般管理費	6	6					
	計	63百万円	63百万円					

事業所管部局による点検						
	項目	評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	本事業は、福島第一原子力発電所の事故による工業製品への風評被害への対策として、放射線量測定等の専門家チームの派遣や、放射線量測定等を行う拠点整備を支援を行うもので、ニーズがあり優先度が高く、また国が実施すべき事業である。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○				
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	公募及び一般競争入札で採択者を選定しており、競争性は確保出来ている。また、放射線測定拠点整備事業は、補助率1/2以内としているため、受益者負担は妥当と考える。採択に当たって、コスト水準の妥当性、費目、使途の必要性をチェックしている。なお、不用の発生理由は、予算要求時に比べ、工業製品等の風評被害が落ち着いてきたことから、放射線量の測定要望が減少し、既存の放射線量測定設備での対応が可能となったことなどが要因。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○				
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	工業製品等の風評被害が落ち着いてきたことから、当初見込みに対して活動実績が低いが、必要な対応は十分に行っており、また、整備した機器等は有効に活用されている。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○				
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-				
	事業番号	類似事業名				所管府省・部局名
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・福島復興再生基本方針、及び東日本大震災からの復興の基本方針に沿った事業として実施。 ・補助事業者から定期的に活動実績の報告を受け効率的な執行に努めた。 					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	被災地の復興ニーズを踏まえつつ、必要額を精査し、効率的な予算の執行を進めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	引き続き、被災地の復興ニーズを踏まえつつ、必要額を精査し、効率的な予算の執行に努めていく。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年		平成23年		平成24年	
					103-3	

平成24年度経済産業省計上の執行実績に基づき記載。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額が
 支出されている者
 について記載す
 る。費目と使途の
 双方で実情が分
 かるように記載)

A. 社団法人青森県薬剤師会衛生検査センター			B. 一般財団法人材料科学技術振興財団		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
備品費	設備の購入	6	備品費	設備の購入	31
			施設改修費	機器設置施設の改修	5
計		6	計		36
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. 社団法人青森県薬剤師会衛生検査センター

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社団法人青森県薬剤師会衛生検査センター	工業製品の放射線量測定等を行う拠点の整備	6		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B. 一般財団法人材料科学技術振興財団

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般財団法人材料科学技術振興財団	工業製品の放射線量測定等を行う拠点の整備	36		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					